

手作りの明かりが冬を彩る
第3回つべつアイスキャンドル点灯まつり開催



活汲小中学校リコーダーアンサンブルの演奏

2月1日、さんさん館で第3回つべつアイスキャンドル点灯まつり(主催 同まつり実行委員会)が開催されました。会場を訪れた人々は、キャンドルが灯る幻想的な雰囲気の中、屋台とカフェコーナーで販売された温かい食べ物や飲み物を楽しみました。

また、多目的ホールでは活汲小中学校リコーダーアンサンブルなどが出演するキャンドルナイトコンサートや、『恋するフォーチュンクッキー 津別ver.』の試写会など多彩な催しが行われ、多くの人でにぎわいました。



アイスキャンドル点灯式にまる太くんも参加

自己ベスト目指して奮闘
町民スケート記録会開催

1月25日、町民スケートリンク(津別小グラウンド)で第37回町民スケート記録会が開催され、小学生から一般まで36名の参加者が健脚を披露しました。

小中学生は100mから500mまで、学年と力量に応じた個人種目やリレー種目に出場。ときおり小雪が舞う中、力いっぱい滑りを見せてくれました。

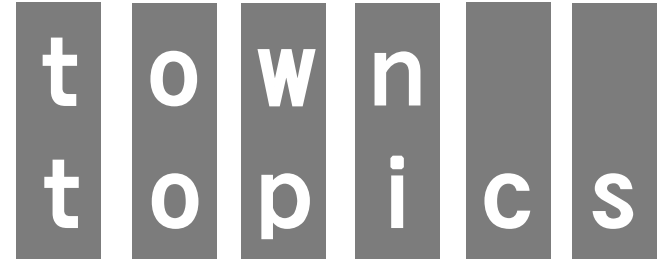
また、一般参加者は4チームが4人1組のリレーに挑戦し、ベテラン勢の巧みなスケートティングでリードを広げるチームや、思うようにスピードに乗れないチームなど、一緒になって冬のスポーツを楽しみました。



町議として地方自治に貢献
藤原英男さんに北海道社会貢献賞

津別町議会議員として、永くまちづくりに尽力されてきた藤原英男さんが、平成25年度北海道社会貢献賞(自治功労者)を受賞し、1月15日、札幌市で行われた表彰式で北海道知事から表彰状を授与されました。

平成元年に39歳で初当選して以来、現在まで7期目にわたって町議を務め、その間、副議長を務めるなど、地方自治の振興に寄与した藤原さんの功績が認められたものです。

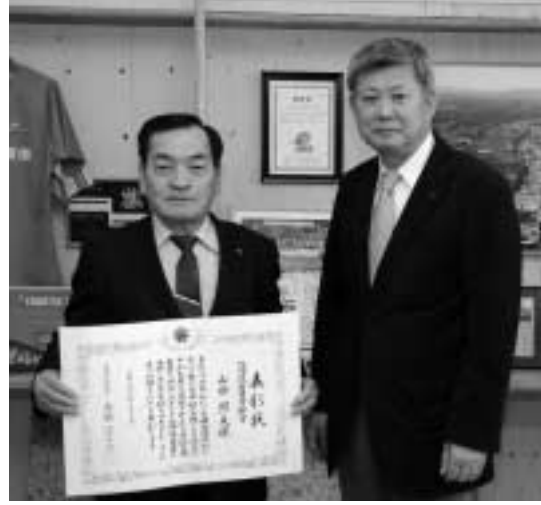


まちのわだい

有機酪農経営に取り組んで15年
山田照夫さんに北海道産業界貢献賞

最上の酪農業・山田照夫さんが北海道産業界貢献賞(農業技術功労者)を受賞し、2月10日、町長へ受賞の報告に訪れました。

山田さんは平成12年に町内の酪農家と有機酪農研究会を立ち上げ、平成18年には有機JAS認証を受けた日本初のオーガニック牛乳を生産するなど、有機農業の推進に尽力されました。佐藤町長のお祝いの言葉に、山田さんは「技術分野で評価していただいたことが嬉しいです」と受賞の喜びを語りました。



道小学生ソフトテニス準優勝
荒川・中山組が全国大会へ

津別小4年の荒川裕貴君と中山奏琉君が、札幌市で行われた第10回北海道小学生ソフトテニスインドア選手権大会・4年生以下男子の部で準優勝し、3月下旬に千葉県で開催される全国大会への出場を決めました。

1月31日、報告のため町長室を訪れた二人は、「試合では少し緊張しましたが、テニスは楽しいです」と話し、大会での健闘を誓いました。佐藤町長は、緊張を解くための秘訣を伝授し、二人を激励しました。



活汲リコーダーアンサンブル
中学校は有終の全国大会出場

1月28日、活汲小中学校リコーダーアンサンブルの山田望和さん(中3)と太田眞美教諭が役場を訪れ、佐藤副町長らに第28回全道リコーダーコンテスト・中学生部門での金賞受賞と、3月の全国大会出場決定を報告しました。

小学生7人、中学生8人のメンバーが一丸となって果たした全国出場で、統合により3月で閉校となる活汲中学校の生徒にとっては思い出に残る大会になりました。



道新かわら版福祉基金
トランポリン協会へ寄附

2月9日、道新かわら版福祉基金(大東勲代表)から津別トランポリン協会(鹿中順一会長)に、寄附金10万円が贈られました。

2月下旬に静岡県で開催された「第5回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会」には、道代表(10歳以下の部)として津別小4年の乃村朋紀花さんが出場しており、寄附金は遠征費など、同協会の活動資金の一部として有効に使われることになります。



冬を楽しむ手作りイベント
第11回子ども冬まつり開催



2月8日、津別小学校小グラウンドで、第11回子ども冬まつりが開催されました。

町内各小学校PTAによる実行委員会主催の、冬を楽しむ手作りイベントで、会場には「標的落とし」、「氷柱抱きつき」、「長くつとばし」、「すべり台」など、工夫を凝らした楽しいアトラクションが勢ぞろい。特設屋台にはココアや牛乳、焼き鳥、豚汁等の温かい飲食物も用意され、子どもたちでにぎわいました。

冬ならではのイベントに今年もたくさん親子連れが訪れ、冬の一日を楽しみました。